



会社概要

2024 活動報告書

ご挨拶

弊クラブは「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」をクラブ理念として、設立以来活動を続けております。

その中で、2024年にクラブ設立20周年の記念の年を迎えることができました。これもひとえに日頃より支えてくださる皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

2024シーズン、トップチームはスタート当初より大変苦しい戦いが続き、勝点については目標からは少し遠くなってしまったものの、リーグ戦12位という結果となりました。2025シーズンもチームの指揮は大木武監督が執ってくれますので、ロアッソの攻守にアグレッシブなスタイルのサッカーを追求しながら、J1の舞台に向かってクラブ一丸となって闘って参ります。

次にアカデミーですが、ユースは日々のトレーニングや大会出場のみならず、欧州への選手・スタッフの短期留学や韓国遠征等、海外活動を積極的に取り入れ、国際基準のサッカーを体感しながら成長しております。ジュニアユースについては、夏の全国大会となるU-15クラブユース選手権に出場し、クラブ史上初めて予選リーグを突破し、ベスト16になる等、めざましい活躍がありました。このカテゴリーからは世代別の代表等に選ばれる選手も多数おり、近年の育成の成果であるといえます。

また、弊クラブは、「日本一地域に根差したクラブづくり」をクラブビジョンのひとつとしており、熊本県内各所でのイベント出演や、サッカー教室開催等の地域貢献活動にも力を入れております。加えて、地域社会と一体となって、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活を楽しむ町づくりのお手伝いをする、ホームタウン活動も積極的におこなっております。なかでも火の国もりあげタイプロジェクトにおいては、2025年度「玉東町」にご参加いただくことで、熊本県下全自治体との取り組みが完了し、新たなステージへと進んでいく予定です。

一方、経営面につきましては、ここ数年、多少安定はしてきたものの、大きく飛躍するまではいたっておりません。協賛金、入場料収入、物販収入いずれも前年度より増加傾向にはありますが、いずれもJ2平均より下回っており、少しでも早く、まずはJ2平均まで押し上げ、更なる財務体質の強化が喫緊の課題と認識しております。

このような活動をご理解の上、皆様におかれましては2025シーズンもさらなるご支援、ご声援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



株式会社 アスリートクラブ熊本
代表取締役社長

藤本 靖博

クラブプロフィール

**roasso
kumamoto**

チーム名 ロアッソ熊本

熊本を象徴する「阿蘇山」や「火の国熊本」から、熊本の燃える情熱を表す赤のイタリア語「ロッソ」と、「エース」「唯一の」を意味するイタリア語「アッソ」を組み合わせた造語で、Jリーグでもエースとなりうるナンバー1のチームを目指す決意をチーム名に込めています。



エンブレム

「馬」は選手・若者の象徴。「盾」はサポーター：盾の形は熊本県のマークから発想しています。「馬」は熊本の伝統や自然を象徴する動物です。暴れ馬と、それを盛り上げる祭りの参加者を、そのままサッカー選手とサポーターに重ね合わせました。また、大阿蘇の草原を走る馬は、フィールドを駆ける選手に見立てています。



チームマスコット ロアッソくん

年齢：小学校高学年 背番号：123
出身地：ヒノクニ 将来の夢：ワールドカップ出場

絆180万馬力

クラブスピリッツ 絆180万馬力

ロアッソ熊本はこれまで、そしてこれからも、ファン・サポーターの皆様、株主・パートナー企業の皆様、ロアッソ熊本に関わるすべての皆様と「絆」を結び、共に歩んでいこうと、「絆180万馬力」をクラブスピリッツとして掲げています。

SPARK

2025シーズンスローガン「SPARK」

ロアッソ熊本は20年の歴史を経て、2025年はクラブもチームもSPARKし、火花を弾き飛ばすように突き進む1年にしようという意味を込めています。



ホームスタジアム えがお健康スタジアム 通称：えがおスタ

所在地：熊本県熊本市東区平山2776
入場可能数：30,275人



チーム練習拠点 熊本県民総合運動公園 スポーツ交流館

2012年3月、熊本県民総合運動公園内にロアッソ熊本のクラブハウスを兼ねた「スポーツ交流館」が落成されました。クラブ専用のミーティングルームやロッカー、シャワールームなどを備えており、主にこのスポーツ交流館横にあるサッカー場でトレーニングをおこなっています。

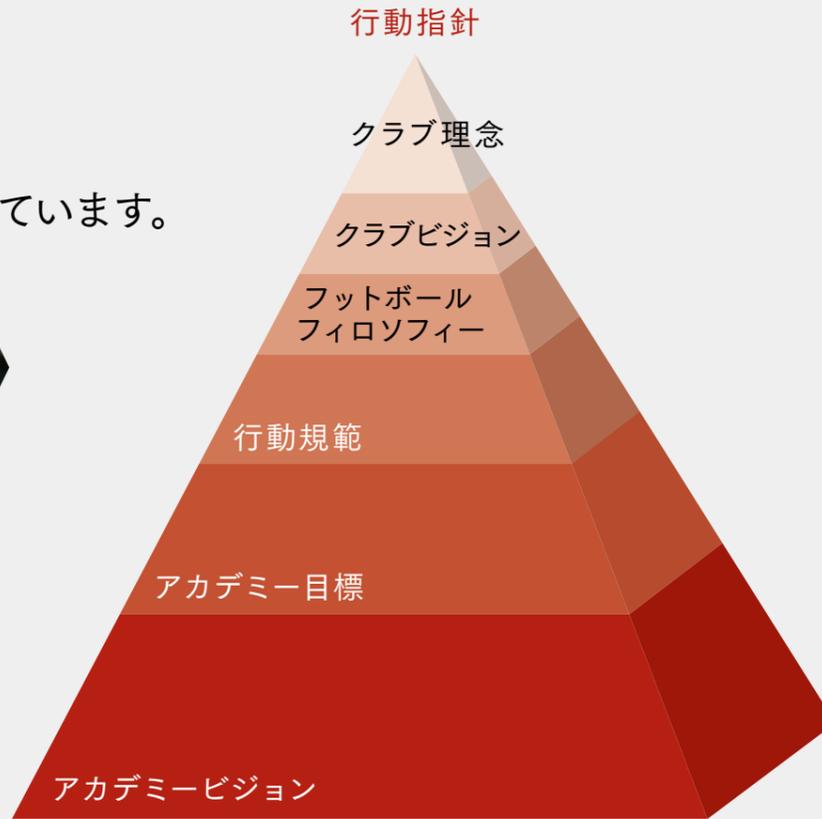
オウンドメディア

2025年1月末日現在

公式HP	X (旧Twitter)	Instagram	Facebook	YouTube	LINE	TikTok
PV数	フォロワー数	フォロワー数	フォロワー数	チャンネル登録数	友だち登録数	フォロワー数
約50万/月	67,459	2.5万	1.5万	7,990	8,899	5,183

私たちが目指すもの

私たちの活動は全て
クラブ理念、
クラブビジョンに基づいています。



クラブ理念

県民に元気を
子ども達に夢を
熊本に活力を

クラブビジョン

真っ赤で笑顔溢れるスタジアム
J1へのチャレンジ
世界に飛ばたく選手の育成
日本一地域に根差したクラブづくり



ロアッソ熊本フットボールフィロソフィー

1 攻守においてイニシアティブを握る 「アクションサッカースタイル」を追求する

- アグレッシブにゴールを目指す
- ボールを失ったら奪い返す
- 素早く攻守を切り替える
- いかなる状況でも最後まで走る、闘う、プレーする
- 勝負にこだわりフェアでひたむきにハードワークする
- 個々の力を結集して、チームのために闘う

2 長期的な視野にもとづき、 自前で選手を育成する

- アカデミーにおける一貫指導により優秀な若年代選手を育成する
- 常に高いレベルを目指し、向上心に溢れる選手を育成する
- 自律、そして自立した選手を育成する
- 地域指導者とのネットワークを密にして、将来性のある有望選手を採用する

3 地域の人々に愛され応援される、 そして地域に貢献できる存在となる

- サッカーを通じて地域の人々と夢や感動を共有する
- サッカー選手である前に社会人としてふさわしい振る舞いをする
- 常に自己研鑽に努め、青少年の手本となる選手になる
- 自ら積極的にボランティア活動に取り組む

行動規範 The Pride of ROASSO ～赤い魂を持った戦士の誇り～

“Always Positive”

- 常に前向きに！自分の力でどうにかなることに専心
- 弱音を吐かない、泣き言を言わない…寄せ付けない！
- サッカーを始めた頃の純粋な楽しさを忘れない(Enjoy)

“Challenge”

- 積極的にチャレンジ。常に向上心を持つ
- 躊躇するな！失敗を恐れるな！
- 積極的なミスは互いに認め合おう

“Our Team”

- このチームは皆の、自分たちのチーム、「誰かが何かをしてくれる」ではない
- 「チームが勝つために」何をすべきか…自分で考え自分でプレーする

“Independent”… 自立

- Professionalとして24時間をデザイン
- チーム内のコミュニケーション(挨拶はその第一歩)

“Winning Mentality”

- 「チームが勝つために」…全力を尽くす“勝利へのこだわり”
- これくらい、この1回くらい、自分一人くらい…全てを断ち切る
- 最後は自分自身との戦い…苦しいときこそ互いに励まし合う

アカデミー目標

価値ある選手と
優れた人材を生み出す

アカデミービジョン

トップチームで活躍できる
選手を輩出する

トップチームの約半数を
アカデミー出身選手で構成する

年代別代表選手を輩出し、
世界基準を体現できる選手を育成する

サッカーの普及活動を通じ、
地域と連携・協力しながら
将来性豊かな人材を育成する

2024 Topics

道脇選手 海外クラブへ挑戦

2024年7月、当クラブ所属の道脇選手が、ベルギー2部・SKベフェレンへ期限付き移籍を発表。
道脇選手は、ロアッソ熊本ジュニアユース、ユースを経て、2023シーズン、当時16歳でクラブ史上初めてユース在籍選手としてプロ契約を締結。U-19日本代表に選出される等今後の活躍を期待されるなかで、この度海外移籍を決断し、更なる成長を目指すことを誓った。アカデミー出身者が海外クラブへ直接移籍をしたことはクラブ史上初めて。



神代慶人選手、日本代表U-18選出

2024年8月、静岡県でおこなわれるSBSカップ国際ユースサッカー(2024年8月18日(日)～8月25日(日))に臨むU-18日本代表メンバーに選出された。ロアッソ熊本ジュニア、ジュニアユース、ユースを経て、2024シーズンでプロ契約を締結。ロアッソ熊本ジュニア出身選手としては初のプロ契約となった。そして、今回、神代選手自身、17歳となる年で一学年上のU-18日本代表に選出。年代別日本代表・国際大会の経験を経て、今後さらなる活躍に期待。

クラブ沿革 ~クラブ設立20年の歩み~

2004年
9月 「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部設立
12月 株式会社アスリートクラブ熊本を設立



2005年 「ロッソ熊本」を編成
第33回 九州サッカーリーグ 参戦
【戦歴】
第33回 九州サッカーリーグ 優勝
第1回 アデル・カーズ杯 優勝
第9回 NHK杯(天皇杯熊本県予選) 優勝
第85回 天皇杯 1回戦敗退
第41回 全国社会人サッカー選手権 優勝
第29回 全国地域リーグ決勝大会 3位
=JFL昇格=

2006年 第8回 日本フットボールリーグ(JFL) 参戦
Jリーグ準加盟クラブ承認
【戦歴】
第8回 日本フットボールリーグ 5位
第10回 NHK杯(天皇杯熊本予選) 優勝
第86回 天皇杯 3回戦敗退

2007年 第9回 日本フットボールリーグ(JFL) 参戦
12月 J2入会承認
【戦歴】
第9回 日本フットボールリーグ 2位
第87回 天皇杯
1回戦敗退

2004
設立

2005
チーム
編成

2006
JFL
参戦

2007
J2入会
承認

2008
J2
参戦

2008年 「スローガン：
Action&Communication」
JリーグDivision2 参戦
【戦歴】
JリーグDivision2 12位(15チーム中)
第88回 天皇杯 3回戦敗退



2009年 「スローガン：絆~Keep&Change~」
【戦歴】
JリーグDivision2 14位(18チーム中)
第89回 天皇杯 2回戦敗退

2010年 「スローガン：絆~STRONG WILL強い意志~」
【戦歴】
JリーグDivision2 7位(19チーム中)
第90回 天皇杯 3回戦敗退

2011年 「スローガン：絆~be Real 実現~」
【戦歴】
JリーグDivision2 11位(20チーム中)
第91回 天皇杯 2回戦敗退

2012年 「スローガン：絆 ONE heart~心をひとつに~」
【戦歴】
JリーグDivision2 14位(22チーム中)
第92回 天皇杯 ベスト16

2013年 「スローガン：絆 with us~180万馬力~」
【戦歴】
JリーグDivision2 19位(22チーム中)
第93回 天皇杯 3回戦敗退

2014年 「スローガン：絆 My Hometown 180万馬力」
【戦歴】
JリーグDivision2 13位
(22チーム中)
第94回 天皇杯
2回戦敗退

2015年 「スローガン：RISING絆 180万馬力」
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 13位(22チーム中)
第95回 天皇杯 3回戦敗退

2016年 「スローガン：+ONE絆 180万馬力」
4月 熊本地震発生

震災によりスタジアムが救援物資の集積拠点となり
使用できず、日立柏サッカー場(千葉)、ノエビアス
タジアム神戸(兵庫)、ベストアメニティスタジアム
(佐賀)を借りてホームゲームを開催

7月 震災後初めて、
うまかな・よかなスタジアムにてホームゲーム開催
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 16位(22チーム中)
第96回 天皇杯 2回戦敗退



2016
熊本地震
発生

2019
J3での
戦い

2020
新型コロナ
ウイルスによる
無観客試合
開催

2021
J3優勝
J2昇格

2022
J1参入
プレーオフ出場

2024
クラブ設立
20周年

2017年 「スローガン：光となれ! 絆 180万馬力」
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 21位(22チーム中)
第97回 天皇杯 3回戦敗退

2018年 「スローガン：飛翔」
震災後初めて、熊本市水前寺競技場にて
ホームゲーム開催
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 21位(22チーム中)
第98回 天皇杯 2回戦敗退

2019年 「スローガン：我心勝鏡」
初めてのJ3リーグでの戦い
J3リーグ最多入場者数記録更新 16,027人
【戦歴】
明治安田生命J3リーグ 5位(18チーム中)
第23回 熊本県サッカー選手権大会(天皇杯熊本県予選) 優勝
第99回 天皇杯 2回戦敗退



2021年 「スローガン：闘え!」
10月 クラブ新記録の7連勝を記録
【戦歴】
明治安田生命J3リーグ 優勝(15チーム中) J2昇格
第101回 天皇杯 2回戦敗退

2022年 「スローガン：闘え! 2022」
10月 クラブ史上初J1参入プレーオフ進出
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 4位(22チーム中)
J1参入プレーオフ出場・決定戦敗退
第102回 天皇杯 3回戦敗退



2023年 「スローガン：挑め! 高みへ」
【戦歴】
明治安田生命J2リーグ 14位(22チーム中)
第103回 天皇杯 準決勝敗退(第3位) ※過去最高成績



2024年 「スローガン：跳べ」
クラブ設立20周年を迎える
【戦歴】
明治安田J2リーグ 12位(20チーム中)
第104回 天皇杯 2回戦敗退
2024JリーグYBCルヴァンカップ2回戦敗退



2020年 「スローガン：繋続」
3月 新型コロナウイルス感染症の影響により
J3開幕戦延期
6月 リモートマッチ(無観客試合)による
ホームゲーム開催

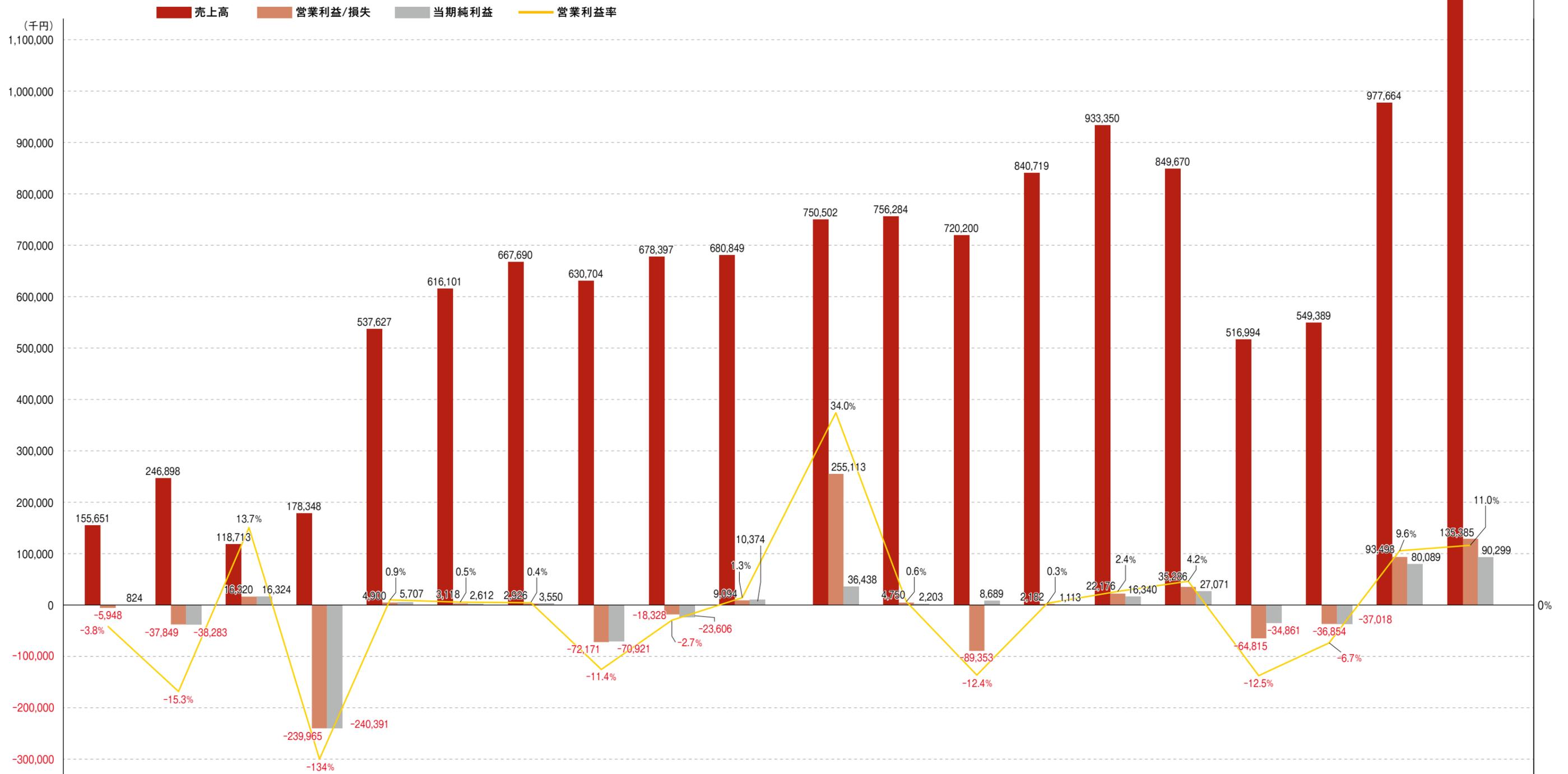
【戦歴】
明治安田生命J3リーグ 8位
(18チーム中)
第100回 天皇杯
出場無し



経営成績推移

第1期～第20期

過去最高売上高
過去最高益



	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	16期	17期	18期	19期	20期	
自	2004/12/21	2005/12/1	2006/12/1	2007/3/1	2008/3/1	2009/3/1	2010/2/1	2011/2/1	2012/2/1	2013/2/1	2014/2/1	2015/2/1	2016/2/1	2017/2/1	2018/2/1	2019/2/1	2020/2/1	2021/2/1	2022/2/1	2023/2/1	
至	2005/11/30	2006/11/30	2007/2/28	2008/2/29	2009/2/28	2010/1/31	2011/1/31	2012/1/31	2013/1/31	2014/1/31	2015/1/31	2016/1/31	2017/1/31	2018/1/31	2019/1/31	2020/1/31	2021/1/31	2022/1/31	2023/1/31	2024/1/31	
カテゴリー	九州リーグ	JFL			J2										J3		J2				
トピック													熊本地震								新型コロナウイルス

2023年 Jクラブ売上高とチーム人件費/協賛金収入/入場料収入の比較

※各項目において、赤字は最上位、青文字は最下位の数字を示しています。

▶2023年J1在籍全18クラブ経営状況 ※売上高降順

	売上高	前年比	チーム人件費	売上高比率	協賛金収入	売上高比率	入場料収入	売上高比率	最終順位
浦和	10,384	2,257	3,860	37.2%	4,223	40.7%	2,145	20.7%	4
川崎F	7,963	984	3,287	41.3%	3,452	43.4%	1,258	15.8%	8
神戸	7,037	672	3,800	54.0%	2,409	34.2%	1,320	18.8%	1
G大阪	6,574	605	2,763	42.0%	2,188	33.3%	970	14.8%	16
横浜FM	6,509	28	3,042	46.7%	2,222	34.1%	1,499	23.0%	2
鹿島	6,462	346	2,532	39.2%	2,418	37.4%	1,201	18.6%	5
名古屋	6,303	212	2,836	45.0%	2,738	43.4%	1,243	19.7%	6
FC東京	5,929	655	2,597	43.8%	2,836	47.8%	1,208	20.4%	11
C大阪	4,868	652	2,010	41.3%	2,741	56.3%	900	18.5%	9
柏	4,419	▲213	2,654	60.1%	3,111	70.4%	413	9.3%	17
広島	4,198	181	2,435	58.0%	1,864	44.4%	631	15.0%	3
札幌	4,111	506	1,723	41.9%	1,933	47.0%	775	18.9%	12
新潟	3,659	1,120	889	24.3%	1,233	33.7%	847	23.1%	10
横浜FC	3,627	766	2,089	57.6%	1,528	42.1%	524	14.4%	18
京都	3,393	105	1,838	54.2%	1,997	58.9%	599	17.7%	13
福岡	2,874	45	1,611	56.1%	936	32.6%	618	21.5%	7
湘南	2,812	335	1,255	44.6%	1,287	45.8%	523	18.6%	15
鳥栖	2,497	20	1,016	40.7%	982	39.3%	619	24.8%	14
J1平均	5,201	515	2,347	46.0%	2,228	43.6%	961	18.5%	

(金額単位:百万円)

※□:J2所属

▶2023年J2在籍全22クラブ経営状況 ※売上高降順

	売上高	前年比	チーム人件費	売上高比率	協賛金収入	売上高比率	入場料収入	売上高比率	最終順位
清水	5,101	14	2,246	44.0%	2,910	57.0%	835	16.4%	4
磐田	4,254	1,022	1,413	33.2%	2,675	62.9%	530	12.5%	2
町田	3,409	1,490	1,806	53.0%	2,656	77.9%	202	5.9%	1
東京V	2,818	702	778	27.6%	343	12.2%	366	13.0%	3
大宮	2,788	150	792	28.4%	1,493	53.6%	270	9.7%	21
千葉	2,649	11	873	33.0%	1,622	61.2%	302	11.4%	6
仙台	2,520	▲146	1,044	41.4%	1,702	67.5%	375	14.9%	16
山形	2,500	308	839	33.6%	940	37.6%	279	11.2%	5
長崎	2,111	47	1,799	85.2%	1,240	58.7%	182	8.6%	7
徳島	2,092	▲130	984	47.0%	1,347	64.4%	170	8.1%	15
甲府	2,040	476	748	36.7%	851	41.7%	338	16.6%	8
岡山	1,937	55	715	36.9%	861	44.5%	248	12.8%	10
大分	1,861	34	801	43.0%	738	39.7%	334	17.9%	9
★熊本	1,228	250	326	26.5%	459	37.4%	155	12.6%	14
水戸	1,104	80	346	31.3%	574	52.0%	109	9.9%	17
山口	1,098	▲20	406	37.0%	611	55.6%	125	11.4%	20
栃木	1,088	47	316	29.0%	560	51.5%	154	14.2%	19
いわき	1,077	307	282	26.2%	488	45.3%	90	8.4%	18
秋田	904	27	265	29.3%	467	51.7%	48	5.3%	13
金沢	871	8	359	41.2%	360	41.3%	80	9.2%	22
藤枝	805	400	265	32.9%	414	51.4%	102	12.7%	12
群馬	790	73	330	41.8%	350	44.3%	116	14.7%	11
J2平均	2,048	237	806	38.1%	1,076	50.4%	246	11.7%	

(金額単位:百万円)

※□:J1所属

※□:J3所属

▶2023年J3在籍全20クラブ経営状況 ※売上高降順

	売上高	前年比	チーム人件費	売上高比率	協賛金収入	売上高比率	入場料収入	売上高比率	最終順位
松本	1,456	▲54	518	35.6%	780	53.6%	276	19.0%	9
今治	1,292	247	420	32.5%	744	57.6%	78	6.0%	4
北九州	933	▲90	285	30.5%	487	52.2%	83	8.9%	20
岐阜	904	27	358	39.6%	477	52.8%	90	10.0%	8
鹿児島	886	127	267	30.1%	437	49.3%	79	8.9%	2
愛媛	860	72	272	31.6%	389	45.2%	58	6.7%	1
富山	786	109	244	31.0%	490	62.3%	54	6.9%	3
長野	741	▲17	190	25.6%	338	45.6%	69	9.3%	14
FC大阪	559	-	156	27.9%	404	72.3%	16	2.9%	11
岩手	536	▲136	255	47.6%	293	54.7%	21	3.9%	10
琉球	512	▲1,087	314	61.3%	169	33.0%	34	6.6%	17
沼津	511	77	170	33.3%	309	60.5%	32	6.3%	13
八戸	494	93	126	25.5%	296	59.9%	13	2.6%	7
相模原	486	▲276	265	54.5%	240	49.4%	45	9.3%	18
鳥取	469	▲17	149	31.8%	193	41.2%	39	8.3%	6
奈良	429	-	163	38.0%	215	50.1%	38	8.9%	5
讃岐	424	18	143	33.7%	194	45.8%	35	8.3%	16
福島	403	▲28	157	39.0%	261	64.8%	19	4.7%	15
宮崎	218	▲107	144	66.1%	110	50.5%	22	10.1%	19
YS横浜	209	51	113	54.1%	121	57.9%	25	12.0%	12
J3平均	655	▲55	235	38.5%	347	52.9%	56	8.0%	

(金額単位:百万円)

※□:J2所属

※□:JFL所属

▶2023年Jリーグ在籍全60クラブ経営状況

	売上高	前年比	チーム人件費	売上高比率	協賛金収入	売上高比率	入場料収入	売上高比率
平均	2,635	232	1,129	40.9%	1,217	49.0%	421	12.7%

(金額単位:百万円)

左記データは、Jリーグが公表しているJリーグ在籍全60クラブの『2023シーズンJクラブ売上高とチーム人件費・協賛金収入・入場料収入ならびにその割合』を示した表です。

——当クラブ売上高と他クラブ比較

この表から見て分かる通り、当クラブの2023年度の売上高は前年比2億5千万円増の12億2千8百万円となりました。前頁においても記載のとおり、2023年度はクラブ史上初めて売上高10億円を突破し、過去最高売上高・過去最高益を記録しましたが、それでもJ2リーグにおいて前年度(2022年度)実績の下から4番目の位置より少し順位を上げたことにはなるものの、未だ中位程度に位置しています。また、Jリーグに在籍する各クラブの経営規模が着実に拡大しているなかで、J2リーグ在籍22クラブのうち半数の11チームは既に売上高20億円を突破しています。J1リーグ在籍クラブに至っては売上高最下位でも約25億円となっています。さらには、いずれの κατηγοリーにおいても、年間を通して戦うリーグ戦の最終順位と売上高は相関関係にあることが見て取れます。今後J1へチャレンジしていくためにも、この数字を意識して更なる売上増を目指さなくてはならないことは言うまでもありません。

——トップチーム人件費について

当クラブのトップチーム人件費、実績値3億2千6百万円という金額はJ2リーグ在籍クラブのなかでは下から5番目、売上高比率はいわきFCに次いで下から2番目の数字となっています。これは、育成型クラブを目指すなかで若い選手を育てて組み立てるサッカーを展開していく当クラブにおいては、名のある有名選手や代表歴のある選手を獲得していくチーム編成ではないため、決して悲観する内容ではありませんが、ともに闘う大切な選手たちであることには変わりなく、左記表からも、売上高と同様トップチーム人件費もリーグ戦順位と相関関係にあり、上位で闘うクラブはトップチーム人件費も高いことが見て取れます。

——協賛金収入及び入場料収入について

次に収入面です。Jリーグクラブの収益構造は多岐に渡りますが、その多くをパートナー企業からの協賛金や入場料収入が占めています。中でもパートナー企業からの協賛金は、Jリーグ全体の平均値としても売上高の49%を占める大変比重の高い収入項目です。しかしながら、当クラブの協賛金収入は4億5千9百万円であり、J2リーグ在籍22クラブのうち下から5番目の売上高比率37.4%となっています。これはJ2リーグ在籍クラブ

平均値をも大きく下回っています。

また、前述のとおりクラブの二大収入源となる入場料収入に関しては、当クラブの実績値1億5千5百万円、売上比率12.6%という数字は、中位程度に位置しています。当クラブでは、多くのお客様にご来場いただくべく魅力あるイベントや充実したスタジアムグルメの展開に努め、サッカーの試合のみならず、老若男女が楽しむことができるスタジアムづくりを目指しています。さらには、サッカーの試合が始まればトップチームが掲げる『アクションサッカー』を体感していただき、ロアッソ熊本のサッカーを通じてたくさんの地域の方々や夢や感動を共有することができれば幸いです。そして今後も一人でも多くの方が「スタジアムに行きたい」と思っただけのよう、引き続きイベント等の企画検討をおこなってまいります。

一方で、屋外スポーツ故に入場料収入はどうしても天候等に左右される場合が多く、不確定要素があることも現実です。クラブ経営の安定を図るためにも、協賛金収入を上げていくことはクラブにとって今後の大きな課題といえるでしょう。企業・団体の皆様にとって協賛する価値のあるクラブとなるべく、『県民に元気を子ども達に夢を熊本に活力を』というクラブ理念を念頭に置き、引き続き活動を続けてまいります。そして、私たちが持つファンやサポーター、自治体などのステークホルダーをパートナー企業に引き寄せ、繋ぎ、それを拡大していくプラットフォームの役割として機能させることを目標に、看板の掲出などの露出媒体としてのみならず、様々な手法でパートナー企業名の訴求や商品PR媒体に役立ててもらおうなど、より効果的にパートナー企業の課題解決に貢献できる施策提案を目指しています。

——最後に

当クラブでは2023年に10年後を見据えた中長期計画を作成し、現在3年目を迎えます。今後クラブが安定して成長していくために10年後のクラブ予算をJ2トップクラスにあげていく計画をベースとしています。高い目標ではありますが、達成に向けて逆算し、今何をすべきなのか、何が不足しているのかを常に考え、新たな取り組みにもチャレンジしています。クラブが目指す道をパートナー企業やファン・サポーターの皆様としっかり共有してお伝えしていくこと。そして、支援の輪を深く、広く拡大していくためにも、将来に向かった夢を皆様と共有していくことがクラブにとって最も大切なことだと考えています。



2024明治安田J2リーグ

12位

順位

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20



大卒新加入・古長谷の2発で今シーズン勝利を収めた第3節!



7試合勝ち無しで苦戦を強いられる



神代選手がPKを決め、J2リーグ最年少ゴール記録を更新!



ホームゲームでは3か月振りの勝利!



1万人を超える来場者数を記録するも土壇場で追いつかれドロー

▶ 2024 明治安田J2リーグ順位表

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	清水エスパルス	82	38	26	4	8	68	38	30
2	横浜FC	76	38	22	10	6	60	27	33
3	V・ファーレン長崎	75	38	21	12	5	74	39	35
4	モンテディオ山形	66	38	20	6	12	55	36	19
5	ファジアーノ岡山	65	38	17	14	7	48	29	19
6	ベガルタ仙台	64	38	18	10	10	50	44	6
7	ジェフユナイテッド千葉	61	38	19	4	15	67	48	19
8	徳島ヴォルティス	55	38	16	7	15	42	44	-2
9	いわきFC	54	38	15	9	14	53	41	12
10	ブラウブリッツ秋田	54	38	15	9	14	36	35	1
11	レノファ山口FC	53	38	15	8	15	43	44	-1
12	ロアッソ熊本	46	38	13	7	18	53	62	-9
13	藤枝MYFC	46	38	14	4	20	38	57	-19
14	ヴァンフォーレ甲府	45	38	12	9	17	54	57	-3
15	水戸ホーリーホック	44	38	11	11	16	39	51	-12
16	大分トリニータ	43	38	10	13	15	33	47	-14
17	愛媛FC	40	38	10	10	18	41	69	-28
18	栃木SC	34	38	7	13	18	33	57	-24
19	鹿児島ユナイテッドFC	30	38	7	9	22	35	59	-24
20	ザスパ草津	18	38	3	9	26	24	62	-38

★ J1自動昇格枠 ☆ ブレーオ出場圏 ★ J3降格枠



前半16分、DF大西選手からのロングパスにFW石川選手がダイレクトで合わせて得点! このゴールが明治安田Jリーグ月間ベストゴール受賞!



ホーム最終戦を勝利で飾った



九州ダービー・鹿児島戦は、アウェイにも関わらず2,000人のサポーターの前で勝利!



後半アディショナルタイムに岩下選手の貴重な勝ち越し弾!! 貴重な4連勝!!

神代慶人選手 最年少ゴール J2リーグ トップ5独占!



2024シーズン、通算5ゴールを挙げた神代慶人選手。その全てのゴールがJ2リーグ最年少ゴール記録トップ5を独占しました!

神代 慶人

[生年月日] 2007/10/25(東海大学付属熊本星翔高等学校 2年生*)
[身長/体重] 178cm/70kg
[前所属] ロアッソ熊本ジュニア・ロアッソ熊本ジュニアユース・ロアッソ熊本ユース

選手名	当時所属	対戦	出場日	年齢	生年月日	
1	神代 慶人	熊本	千葉	2024/3/30	16歳5ヶ月5日	2007/10/25
2	神代 慶人	熊本	山口	2024/4/3	16歳5ヶ月9日	2007/10/25
3	神代 慶人	熊本	山口	2024/4/3	16歳5ヶ月9日	2007/10/25
4	神代 慶人	熊本	長崎	2024/4/7	16歳5ヶ月13日	2007/10/25
5	神代 慶人	熊本	千葉	2024/7/14	16歳8ヶ月19日	2007/10/25
6	河野 孝汰	山口	長崎	2020/7/29	16歳11ヶ月17日	2003/8/12

※2024シーズン終了時

2024 Jリーグ YBCルヴァンカップ

1回戦 3月13日水 於:とうほう・みんなのスタジアム

ロアッソ熊本 (J2) **2-1** 福島ユナイテッドFC (J3)
前半[2-0] 後半[0-1]
[得点者] 4' 藤田、35' 大崎

2回戦 4月24日水 於:えがお健康スタジアム 来場者数:4,120人

ロアッソ熊本 (J2) **0-1** サガン鳥栖 (J1)
前半[0-1] 後半[0-0]

天皇杯JFA 第104回全日本サッカー選手権大会

2回戦 6月12日水 於:えがお健康スタジアム 来場者数:2,141人

ロアッソ熊本 (J2) **1-2** 水戸ホーリーホック (J2)
前半[1-0] 後半[0-2]
[得点者] 29' 藤井

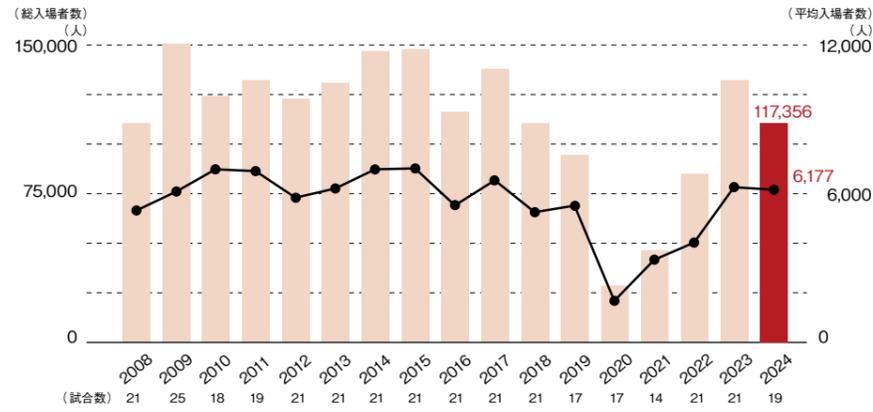
節	1節	2節	3節	4節	5節	6節	7節	8節	9節	10節	11節	12節	13節	14節	15節	16節	17節	18節	19節	20節	21節	22節	23節	24節	25節	26節	27節	28節	29節	30節	31節	32節	30節*	33節	34節	35節	36節	37節	38節
開催日	2月25日	3月3日	3月10日	3月17日	3月24日	3月30日	3月30日	4月3日	4月7日	4月14日	4月20日	4月28日	5月3日	5月6日	5月12日	5月18日	5月26日	6月2日	6月8日	6月16日	6月22日	6月29日	7月6日	7月14日	8月3日	8月11日	8月17日	8月25日	9月1日	9月15日	9月21日	9月25日	9月29日	10月6日	10月20日	10月27日	11月4日	11月10日	
Home/Away	H	H	A	H	A	A	H	A	H	H	A	H	H	A	H	A	H	A	A	H	A	H	A	A	H	A	H	A	H	A	A	A	H	H	A	A	H	A	
対戦相手	清水	群馬	愛媛	いわき	仙台	藤枝	千葉	山口	長崎	甲府	岡山	大分	鹿児島	水戸	横浜	徳島	山形	栃木	秋田	岡山	横浜	愛媛	長崎	千葉	栃木	大分	水戸	いわき	藤枝	鹿児島	秋田	甲府	群馬	徳島	山口	山形	仙台	清水	
結果	●1-2	△1-1	○3-2	●0-6	△0-0	●1-2	○1-0	○2-1	●3-4	△3-3	●0-2	●1-2	△2-2	●0-2	△0-0	○2-1	●0-1	○3-1	△1-1	●0-1	●0-5	○4-0	●0-2	○2-0	●0-2	●1-2	●0-1	石川	石川	●1-2	○2-0	○3-1	○3-2	●1-2	△1-1	●0-1	○3-1	●0-1	
得点者	豊田	石川	古長谷 古長谷 大西			大西	神代	神代	ベ オウンG 神代	竹本 岩下 道隆		藤井	黒木 藤井		上村 大崎		三島 大本 阿部	大崎			大崎	江崎 竹本 大西 大崎	石川 江崎 石川 岩下		石川 神代		オウンG		石川 江崎 松岡 オウンG	大崎	大本 唐山 石川	三島 唐山 石川	古長谷 古長谷 岩下	石川	石川		石川 石川 大崎		
順位	16	14	12	16	16	17	15	12	14	14	14	14	15	18	17	17	17	16	16	17	18	16	16	15	16	17	17	17	16	15	12	14	13	14	12	12	12	12	12
累計勝点	0	1	4	4	5	5	8	11	11	12	12	12	13	13	14	17	17	20	21	21	21	24	24	27	27	27	27	30	30	33	36	39	42	42	43	43	46	46	
来場者数	8,059	4,633		3,412			3,626		6,379	4,145		8,656	11,532		2,998		4,566																						

※対戦相手がルヴァンカップ準々決勝に出場するため、日程の変更がありました

入場者数推移

ロアッソ熊本では、2024シーズン、ホームスタジアム「えがお健康スタジアム」にて年間19試合のホームゲームを運営し、総入場者数117,356人、平均入場者数6,177人を記録しました。

また、ロアッソ熊本ではご来場いただく皆様により楽しんでいただけるよう、ホームゲーム会場にて試合のみならず、キックオフ前から様々なイベントを開催しています。ここでは、2024シーズンに実施したイベントの一部を紹介します。



くまモン来場



#ババババンビさんによる歌唱パフォーマンス



Leolaさんによる歌唱パフォーマンス



キックオフ前のボールパーソン紹介パフォーマンス



専修大学熊本玉名高等学校 Venturesによるマーチングパフォーマンス



熊本中央高等学校書道部による書道パフォーマンス



スタジアムグルメ広場におけるステージイベント



新紙幣発行記念 北里柴三郎顔出しパネル



夏の浴衣で来場イベント・選手と写真撮影



卒業おめでとうステッカー配布



ホームゲーム前座サッカー教室



キッズパーク開催



試合前に動物たちとふれあう子どもたち



織田GMブリード・クワガタをプレゼント



母の日・カーネーションプレゼント



選手ハイタッチ



ロアッソくんのぬりえコーナーを開設



移動ふれあい動物園 おとぎの国メルヘン開園



海中水族館・シーダーナツ移動水族館開園



御船町・恐竜たちの運動会 in えがお健康スタジアム



ピッチサイドでのウォーミングアップ見学



選手交流イベント

スポンサーシップから パートナーシップへ

2024シーズンは県内外問わず約500社の企業・団体・個人様よりご支援をいただきました。これまで一方的なご支援依頼でしかなかったスポンサーシップを、現在は私達が持つファンやサポーター、自治体などのステークホルダーをパートナー企業に引き寄せ、繋ぎ、それを拡大していくプラットフォームの役割として機能させることを目標として活動しています。

看板掲出などの露出媒体のみならず、様々な手法で有効にパートナー企業名の訴求や商品のPR媒体に役立ててもらいなど、より効果的にパートナーの課題解決に貢献できる施策提案を目指すものです。またパートナー企業とクラブがもつ双方の強みで連携し、地域における社会問題の解決に共に取り組むなど、Jリーグクラブでなければできないようなシナジー効果を発揮した真のパートナーシップを目指しています。

CASE 01 パートナー企業による スタジアムアクティビティ

ホームゲーム会場を活用したパートナー企業によるPR活動の重要性は年々増加しています。コンコースエリアでのパートナー企業による商品販売会、サンプリング提供やアンケート取得に伴う抽選会の実施など、多様なアイデアでスタジアムイベントを華やかなものにしていただいています。毎試合一定の入場者数を安定して動員し、クラブへの愛着が強いサポーターやファンが集うこのスタジアムでPRできる機会は、パートナー企業の皆様にとっても有効な手段の一つであると高く評価されています。



Hirataサンクスマッチ



白岳サンクスマッチ



RKKCSサンクスマッチ



OSTech Thanks Match



肥後銀行サンクスマッチ

パートナー契約社数
2024シーズン実績

504社

(2025年1月末日現在)



CASE 02 パートナー企業と協同での 地域貢献事業

昨今、企業の活動の目的は、利潤の追求のみならず「自然環境への配慮」「社会的弱者の救済」「資源やエネルギーの保護」「コンプライアンスの順守」など多様な価値が求められるようになってきました。そのような状況の中、ロアッソ熊本と共に社会問題や地域課題の解決に取り組む事例も増えてきました。パートナー企業とクラブが連携して活動をおこなうことで、企業単独でおこなうよりも幅広くクラブOUNDメディアや各報道メディアを通じて情報が発信されます。より効果的に地域の課題を訴求し、支援の輪の拡大につなげることに寄与できることから、プロスポーツクラブの可能性は年々広がっています。



平田機工株式会社との子ども食堂支援活動



肥後銀行様との児童養護施設訪問

CASE 03 パートナー企業との商品開発

ロアッソ熊本のロゴ・エンブレムを活用した商品開発の事例が増えています。

熱いファン・サポーターに支えられているクラブだからこそ、この商品化権利は、ロゴマーク等を掲載することでサービスや商品の訴求効果を高め、パートナー企業の皆様がいつもとは違う切り口で企業・個人の方々向けにアプローチすることができます。加えて、商品の売上の一部がクラブの強化費に還元されるため、より一層サービス利用及び商品購買の動機付けに繋がる仕組みとなっています。

また、ロアッソ熊本にとっても、ロゴ・エンブレムがホームタウン区域で日常的に見られ、また強化費として支援金をいただけるため、これからも注力していきたい仕組みとなっています。



肥後銀行様/くまもんのICカード



コカ・コーラボトラーズジャパン様/支援自動販売機



株式会社靴下屋様/コラボソックス



株式会社サニクリーン九州様/応援マット

CASE 04 ロアッソ熊本を活用した アクティビティ

パートナー企業が実施するイベントや社内行事への派遣業務をおこなっています。

企業イベントへの子どもが楽しめるキックターゲットなどの遊具の設置、またトップチーム選手を派遣してイベントに参加するなど、パートナー企業のイベントを盛り上げるための活動にも力をいれています。

またロアッソ熊本では、アカデミー部門においてサッカーの普及をおこなう部署があり、県内各地に広くコーチを派遣してサッカー教室を実施し、競技普及に努めています。こうしたサッカー教室を、パートナー企業の社員のお子様向けに開催する機会も増加傾向にあります。



明治安田サッカー教室

スカンビオカップへの選手派遣



KMバイオロジクス(株)様との街の清掃活動



イオンモール(株)様主催 イオンモール熊本でのパブリックビューイング開催

CASE 05 クラブと共に スタジアムの応援雰囲気醸成

2024シーズン、ロアッソ熊本のホームゲームには平均6,000人以上の方々にご来場いただきました。ファン・サポーターが応援する雰囲気は、ピッチで闘う選手たちへの力強い後押しとなっています。

近年パートナー企業とファン・サポーターが連携し、会場の雰囲気づくりを創出する取り組みも実現しています。

コレオグラフィーやフラッグによる演出、鳴り物での応援統率など、スタジアム全体の一体感を醸成する様々なアイデアをパートナー企業が考案し、クラブがサポーターとの橋渡し役を担っています。



平田機工(株)様/太鼓贈呈



株式会社RKKCS様/ビッグフラッグの贈呈



郵船ロジスティクス(株)様/台湾フェア実施

「ホームタウン」と「ホームタウン活動」とは？

活動拠点

ホームタウン

熊本市

活動区域

熊本県内全域



Jリーグでは、Jクラブの本拠地を「ホームタウン」と呼んでいます。「Jリーグ規約」には、Jクラブはホームタウンと定めた地域で、その地域社会と一体となったクラブづくりをおこないながら、サッカーの普及、振興に努めなければならないことが記されています。つまり、ホームタウンとは「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができる町」を意味しています。またそれらのJクラブと地域社会が一体となっておこなう活動のことを「ホームタウン活動」と呼んでいます。

私たちロアッソ熊本は「熊本県民のチーム」という意味を含め、ホームタウンを「熊本市」、活動区域を「熊本県内全域」とすることで、熊本県内各地にてホームタウン活動をおこなっています。

ここではこれらの活動の一部を紹介させていただきます。

「くまもとブランド」の発信

ロアッソ熊本公式サイト、公式SNS、またスタジアムなどを活用し、熊本県の魅力「くまもとブランド」を発信しています。

公式サイト、公式SNSを活用した発信

- ・ロアッソくんが県内各地を訪問「くまもとブランド発信プロジェクト」
- ・五木村とのコラボ動画の作成

スタジアム(ホーム・アウェイ)を活用した発信

- ・ホームゲーム開催時における物産出店・観光PRブースなどの設置
- ・アウェイゲーム試合会場での観光PRブース、物産販売
- ※2024年実績：栃木、秋田、横浜、千葉、山形

火の国もりあげタイ!プロジェクト

※2024年実施市区町村：南小国町、津奈木町、水上村

- ・各対象自治体の担当選手が名所訪問、公式HPやSNS等各種オウンドメディアでの紹介
- ・ホームゲームにおける「タウンデー」の実施(観光ブース、物産出店、PRイベントなど)

復興支援事業

- ・令和6年能登半島地震復興支援義援金募金の実施(新体制発表会、2月25日：清水戦試合会場)

県内教育機関との活動

- ・県内幼稚園・保育園をロアッソくんが訪問(光の子保育園、泗水幼稚園、リズム幼稚園)
- ・熊本市立桜木小学校へ選手訪問
- ・熊本市中学校、高校での職業講話の実施
- ・県立熊本高等学校生徒によるロアッソ熊本集客プロジェクトの実施
- ・熊本中央高等学校書道部、専修大学熊本玉名高等学校吹奏楽部によるホームゲームでのパフォーマンス
- ・熊本学園大学にてスポーツビジネス、社会連携活動についての講義実施



五木村とのコラボ動画作成



スタジアムでの菊陽町物産展実施



火の国もりあげタイ!による津奈木町紹介



泗水幼稚園訪問

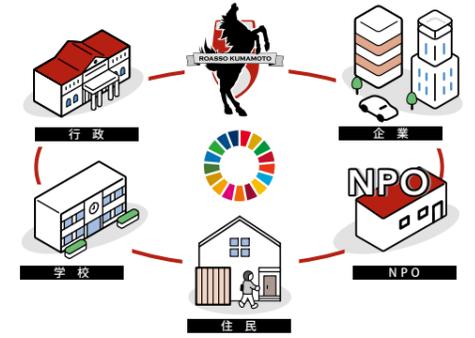


熊本学園大学での講義実施

シャレン!(社会連携活動)

Jリーグでは、社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などと連携して取り組む活動のことを「シャレン!」と称し、力をいれています。

当クラブにおいても、熊本県内の自治体や企業と協同で様々な課題やテーマを掲げ、活動をおこなっており、Jリーグ及びロアッソ熊本はこれらの社会連携活動を通じて、SDGsにも貢献することを目指しています。



熊本県、熊本市を中心とした県内自治体との連携

熊本県

- ・地域活性化・スポーツ振興等事業

「スタジアム、熊本県民総合運動公園および県内各地でのサッカー教室、交流会」

- ・熊本県警察本部による薬物乱用防止、暴力団排除啓発活動への協力

熊本市

- ・高齢者介護予防事業「ロアッソウェルネスプログラム」

- ・ホームゲームを活用した人権啓発事業「人権マッチ」の開催

- ・むし歯予防事業

「8020推進員」のロアッソくんによる小学校でのフッ化物洗口の啓発活動

- ・ロアッソ熊本選手を活用したむし歯予防啓発動画、ポスター製作

- ・秋の交通安全キャンペーン、自転車ヘルメット着用啓発への協力

- ・熊本市水道100周年記念事業に関する連携協定締結

- ・しごと学びWEBライブでの小中学生への職業講話

菊陽町

- ・「スポーツの力」で「地域の活力」を創造する

フレンドリータウン連携協定の締結

- ・ホームゲームでの菊陽町PRブース、招待事業などの実施

- ・ロアッソ熊本応援協力店制度の実施

- ・ロアッソ熊本選手を活用した町民対象イベントの実施

御船町

- ・ホームゲームを活用した御船町PRブース出展、

「恐竜たちの運動会inえがお健康スタジアム」開催

大津町

- ・大津町運動公園他「指定管理者受託」

- ・大津図書館でのロアッソ熊本応援メッセージ募集

高森町

- ・風鎮祭でのジュニアユース阿蘇によるサッカーイベントの実施

- ・すまいるフェスタinたかもりでのジュニアユース阿蘇によるサッカーイベントの実施

天草市

- ・U-12、U-10対象「ロアッソサッカーフェスティバルin天草」開催

パートナー企業、地域団体との連携

- ・平田機工(株)様とのフードドライブ、

子ども食堂への食品提供をおこなう「子ども食堂支援事業」

- ・(株)肥後銀行様による社会福祉施設への観戦チケット、グッズのプレゼント

- ・熊本トヨタ自動車(株)様との県内小学校への

サッカーボール寄贈事業「1ゴールアシスト5」プログラムなど



熊本県地域活性化・スポーツ振興事業



ロアッソウェルネスプログラム



8020運動によるむし歯予防事業



フードドライブ実施



サッカーボール寄贈事業「1ゴールアシスト5」プログラム

一般社団法人ロアッソ熊本スポーツクラブ

一般社団法人ロアッソ熊本スポーツクラブは、ロアッソ熊本が掲げる「県民に元気を」「子ども達に夢を」「熊本に活力を」という理念を具現化した法人で、2014年に設立しました。ロアッソアカデミー組織の運営をはじめ、スポーツ事業を通じた社会課題への取り組み、県民の健康や体力向上への寄与、スポーツに関わる人材の育成などをおこない、県民クラブとしての意義を果たすことを目的としています。



アカデミー

ACADEMY PHILOSOPHY

サッカー選手として、ひとりの人間として、常にポジティブな態度で行動、決断できる「自立した個」を育成する

サッカー選手としての成長を目指し努力することが、人としての成長に繋がり、サッカーを通じて世の中の大切なことを学ぶことができる。

サッカーの普及活動を通じ、地域と連携、協力しながら将来性豊かな人材を育成する

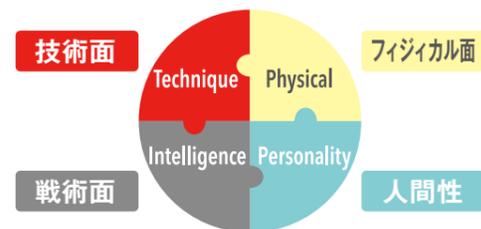
サッカーの持つ楽しさを知ってもらい、熊本のサッカー人口の裾野を広げ、生涯スポーツの普及に努める。

ACADEMY PLAY STYLE

攻守において、主導権を握ってプレーする
常に自分の100%でプレーし、最後まで諦めない(勝利を目指す)
積極的かつ献身的にプレーし、チームのためにハードワークする

個の育成を図っていくために個別育成計画(IDP*)をユースからジュニアまでの全選手に対して実施。また、ストレッチ(飛び級)&統合を積極的に取り入れ、カテゴリー間の連携をより強めて選手育成、強化を図っています。

※IDP: Individual Development Plan



上手く・賢く・タフに
Technical・Clever・Tough

ユース

ユースは高校1年生から3年生の選手が在籍しています。人間的にもサッカー技術においても、真のプロフェッショナルと呼ばれる選手の育成を実現し、トップチームそして世界で活躍できる選手の輩出を目指しています。2024年は、世界基準のプレーや異文化交流を通しての成長を促すことを目的に、イングランドへの短期留学と韓国遠征を実施しました。



◇ユース試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ2024九州1部	2024年4月6日～2024年12月1日	九州各地	6位
2	高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2024熊本1部	2024年4月7日～2024年12月8日	県内各地	6位
3	2024Jユースカップ 第30回ユース選手権	2024年3月23日～2024年11月17日	九州各地	第1ラウンド グループD4位
4	KYFA 2024年度 第35回九州クラブユース(U-18)サッカー選手権大会	2024年5月26日～2024年6月16日	九州各地	6位

ジュニアユース

ジュニアユース(U-15)は中学1年生から3年生の選手が在籍しています。様々な経験を吸収し、急激に成長する年代であり、将来のプロフェッショナルを目指す各選手の現状に応じた指導をおこないます。

2024年、U-15Aチームは「第39回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会」で優勝しました。全国大会ではクラブ史上初となる決勝トーナメント進出を果たしベスト16という成績を残しました。

個人では、U-15日本代表に2名、Jリーグ選抜U-15に1名を輩出、そのほかJFAナショナルトレセンに各年代から多数輩出しました。



◇ジュニアユース U-15A試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2024九州	2024年3月10日～2024年10月27日	九州各地	5位
2	堺整形外科杯2024 KYFA 第39回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会	2024年6月29日～2024年7月14日	九州各地	優勝
3	第39回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会	2024年8月10日～2024年8月20日	北海道	ベスト16
4	高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会 九州予選	2024年11月9日～2024年11月16日	九州各地	九州第5代表決定戦グループ1位
5	高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会	2024年12月14日～2024年12月27日	全国各地	ベスト32

◇ジュニアユース U-15B試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	2023年度第18回九州クラブユース(U-13)サッカー大会	2024年3月2日～2024年3月3日	沖縄県	3位
2	2024JリーグU-14 サザンクロスB	2024年3月1日～2024年12月31日	九州各地	2位

◇ジュニアユース U-15C試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-13サッカーリーグ2024九州	2024年9月1日～2024年12月31日	九州各地	前期南部3位
2	KFA第18回熊本県クラブユースU-13サッカー大会	2024年11月30日～2024年12月8日	熊本県	準優勝

◇個人(代表・トレセン)

選手名	活動名	会場	期間
長井 京志郎	U-15日本代表/国内キャンプ	千葉県・高円宮記念JFA夢フィールド	2024年2月19日～2024年2月23日
	U-15日本代表/ウズベキスタン遠征	ウズベキスタン	2024年7月21日～2024年7月30日
平井 一輝	U-15日本代表/国内キャンプ	福島県・ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ	2024年9月2日～2024年9月4日
	U-15日本代表/ウズベキスタン遠征	ウズベキスタン	2024年7月21日～2024年7月30日
川内 健	U-15日本代表/国内キャンプ	福島県・ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ	2024年9月2日～2024年9月4日
	Jリーグインターナショナルシリーズ2024 アカデミーマッチ Jリーグ選抜U-15	東京都・秩父宮ラグビー場	2024年7月31日～2024年8月4日
大賀 陸	2024ナショナルトレセンU-14前期	千葉県・高円宮記念JFA夢フィールド	2024年5月23日～2024年5月26日
	FIFA×JFAスライカー&GKキャンプ	福島県・ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ	2024年10月18日～2024年10月20日
原武 大和	2024ナショナルトレセンU-14中期	福島県・ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ	2024年9月12日～2024年9月15日
西 輝純	2024ナショナルトレセンU-14後期	静岡県・時之栖	2024年11月21日～2024年11月24日

ジュニアユース阿蘇

ジュニアユース阿蘇は熊本県阿蘇地域において、中学生年代のプレー機会の創出、スポーツ・サッカーによる地域振興を目的として、高森町と連携し2019年4月に設立したチームです。

選手はトレーニングや試合のほか、サッカー大会「ロアソフフェスティバル」の運営、高森町風鎮祭など地域イベントへの参加を通して様々な社会体験を積み、地元への愛着、矜持の心、地域の発展を担える力を身に付けています。



◇ジュニアユース阿蘇A試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2024熊本3部A	2024年3月20日～2024年10月5日	県内各地	5位
2	KFA第39回熊本県クラブユース選手権(U-15)大会	2024年5月25日～2024年6月15日	県内各地	ベスト33
3	KFA第34回熊本県クラブユース選手権(U-14)大会	2024年12月15日～2025年1月13日	県内各地	ベスト8

◇ジュニアユース阿蘇B試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-13サッカーリーグ2024熊本	2024年5月12日～2024年11月10日	県内各地	前期リーグAグループ9位・後期リーグ下位グループ5位
2	KFA第19回熊本県クラブユースU-13サッカー大会	2024年11月30日～2024年12月8日	県内各地	グループリーグ5位

ジュニアユース人吉

ジュニアユース人吉は熊本県人吉・球磨地域において、中学生年代のプレー機会の創出、スポーツ・サッカーによる地域振興を目的として2020年4月に設立したチームです。仲間や地域との関わりを大事にし、サッカー選手としても一人の人間としても成長し、将来地域の力になれるよう取り組んでいます。



◇ジュニアユース人吉A試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2024熊本3部B	2024年3月20日～2024年9月29日	県内各地	3位
2	KFA第39回熊本県クラブユース選手権(U-15)大会	2024年5月25日～2024年6月15日	県内各地	ベスト33
3	KFA第34回熊本県クラブユース選手権(U-14)大会	2024年12月14日～2025年1月13日	県内各地	

◇ジュニアユース人吉B試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2024熊本4部D	2024年4月20日～2024年10月27日	県南地区	中位リーグ2位
2	KFA第19回熊本県クラブユースU-13サッカー大会	2024年11月30日～2024年12月8日	県内各地	グループリーグ3位

◇個人(代表・トレセン)

選手名	活動名	会場	期間
江口 歩	JFAナショナルトレセンGKキャンプ	千葉県・高円宮記念JFA夢フィールド	2024年6月21日～2024年6月23日

ジュニア

小学3年生から6年生の選手が在籍し、年代に応じたトレーニングを実施しています。サッカーのプレー面だけでなく、挨拶や片付けなどマナー、礼儀の重要性を伝え、個々の成長を目指し活動をおこなっています。



◇ジュニア試合結果

NO	大会名	大会期間	会場	最終成績
1	JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN九州 兼KYFA第30回九州U-11サッカー大会in宮崎	2024年3月23日～2024年3月24日	宮崎県	ベスト8
2	第50回熊日学童オリンピックサッカー競技大会	2024年6月1日～2024年6月18日	県内各地	ベスト16
3	JFA第48回全日本 U-12サッカー選手権大会 熊本県大会	2024年11月3日～2024年11月24日	県内各地	ベスト32
4	KFA第46回熊本県少年サッカー新人大会(田嶋杯)U-11熊本県大会 兼第23回スポーツハヤカワカップ	2024年11月30日～2024年12月21日	九州各地	ベスト8
5	KFA第56回熊本県少年サッカー選手権大会(大谷杯)	2025年1月25日～2025年2月9日	県内各地	優勝
6	KYFA2025フジパンCUP 第56回九州U-12サッカー大会	2025年3月8日～2025年3月9日	宮崎県	
7	スーパースポーツゼビオカップKFA第14回熊本県U-10少年サッカー(8人制)大会	2025年3月1日～2025年3月8日	県内各地	

Topics

ユース 海外研修・遠征

2024年1月、ロアソ熊本ユース所属の神代慶人選手、元松蒼太選手、岡本賢明監督、八木大コーチがイングランドプレミアリーグ・チェルシーFCアカデミーチームへ短期留学、研修をおこないました。選手はトレーニング、トレーニングマッチに参加、スタッフはチェルシーFCアカデミースタッフとのディスカッションなどを通して世界トップレベルのサッカーを体感しました。

10月には韓国で開催された国際大会「K LEAGUE ASIAN YOUTH CHAMPIONSHIP in Jeju 2024」に出場し、ユース1・2年生が参加し、アジアの強豪クラブと対戦、闘う意志、粘り強さをみせて準優勝となりました。個人では小田詠人選手が大会得点王を獲得しました。

① イングランド研修



② 韓国遠征



世代別代表 2024U-15日本代表選出

2024シーズン ロアソ熊本ジュニアユースU-15の長井京志郎選手、平井一輝選手がU-15日本代表に選出されました。国内トレーニングキャンプやウズベキスタン遠征に参加しました。代表という高いレベルでのメンバーとの活動、海外代表チームとの試合を通して大きく成長しました。



長井 京志郎



平井 一輝

サッカー普及事業

サッカーを通じて、夢を持つことの大切さ、サッカーの楽しさを伝えることを目的として活動しています。様々な運動やスポーツ本来が持ち合わせている楽しさや素晴らしさ、仲間と力を合わせる喜び、考えることの面白さなどを知り、心身共に健全な発育を促しながら「生涯スポーツの普及」に努めています。

サッカースクール

会場数 県内 **8** 会場 **17** コース

会員数 **453** 名

(2025年1月末日現在)

熊本市を中心に多くのコースで、子ども達が元気いっぱいサッカーに取り組んでいます。初めてサッカーに出会う子どももスキルアップを目指す子どももみんなが笑顔で楽しめる環境を提供しています。またサッカーを通じて仲間の大切さや規律を守ること、失敗をおそれずチャレンジする勇気を育てています。

「なでしこスクール」「ゴールキーパースクール」「おとなのサッカー教室」など特色のあるコースもあり、ロアッソファミリーみんなで楽しく活動しています。



サッカー教室

実施回数 年間 **37** 回

パートナー企業や自治体、サッカー協会と連携し県内各地で開催し、アカデミーコーチが指導し、イベントによってはトップチーム選手も参加し子ども達と一緒にプレーしています。サッカーの経験の有無を問わずみんなが楽しみ、思い出に残るサッカー教室をおこなっています。



キッズキャラバン

訪問回数 **67** 園 **192** 回

県内各地の幼稚園、保育園を訪問するスポーツ指導プログラムです。元気に楽しく身体を動かす事が大好きな子どもに育ってほしいという思いで活動しています。



サッカーによる地域振興

ロアッソ熊本スポーツクラブでは県内各地でサッカー大会を開催しています。九州内外から多くのチームを招き、試合を通して選手のレベルアップ、選手・指導者同士の交流を図っています。また大会期間中は多数のチームが宿泊し、応援の保護者も多く来場するため、各地域の行政や施設、観光関係者とも連携しスポーツ・観光両面で地域に寄与できるよう取り組んでいます。

ロアッソ熊本Jクラブ交流戦

2024年2月3日(土)～2024年2月4日(日)
大津町運動公園



ロアッソ熊本フェスティバル in 阿蘇

2024年4月27日(土)
阿蘇市農村公園あびか



ロアッソ熊本フェスティバル(U-17・U-13)

2024年4月1日(月)～2024年4月3日(水)
大津町運動公園、熊本県フットボールセンター



ロアッソ熊本フェスティバル in 天草

2024年10月5日(土)～2024年10月6日(日)
天草市陸上競技場(あましんスタジアム)、本渡運動公園





INTERVIEW
01

河津 美奈子

営業部 次長
2009年入社

——入社きっかけは何ですか？

スポーツに関わる仕事がしたく、社会人になって最初は熊本市内のハヤカワスポーツ上通本店に就職しました。店頭販売や各スポーツメーカーが開催する展示会に足を運んでメーカーと商談し、仕入れを行うなどの業務に長く携わっていましたが、スポーツの世界でこれまでとは違う経験を積みたという気持ちになり、15年前にアスリートクラブ熊本に入社しました。

——どのような仕事をしていますか？
(日常業務・HG開催時)

日頃は、ロアッソのクラブ理念に賛同いただき新しくロアッソのパートナーとなつていただく企業様を探すこと、開幕前はユニフォームや各練習用ウェア、ピッチ周りの看板類の各広告物の制作やそれに伴うパートナー契約に向けた営業活動、リーグ戦のシーズン中は、既存のパートナー企業様とのサクスマッチやイベントの実施に向けた企画や準備、ロアッソの新しい広告媒体の開発、提案資料の作成などを行い、シーズン終了後はパートナー企業様へのお礼訪問や選手参加のクラブイベント対応、翌シーズンの準備などです。ホームゲーム開催日のスタジアムでは、VIPルームのお客様対応、担当するパートナー企業様のサクスマッチの各イベント、自身で企画したイベントの対応、ピッチセレモニーの引率を担当しています。

——今の仕事のやりがいと今後の目標は何ですか？

一番のやりがいは、スタジアムでロアッソが試合に勝利した時に、サポーターやファンの皆さんの笑顔を見ることと、準備や当日運営で携わったイベントでご来場者に喜んでいただきたときです。ホームゲームでは準備や運営にとっても体力を使いますが、本当に疲れが吹き飛びます。

また、営業ですと、新規の企業様にご提案してご支援いただくことが決まった時に選手や監督、スタッフ、あと藤本社長(笑)の顔が浮かび、とても嬉しくなります！新規パートナー企業が増えることはロアッソへの支援の輪が広がることであり、その企業の社員様やそのご家族にも新たにロアッソのファンができることも大いに考えられるので、とにかく1社でも多くパートナー企業を増やすことを目標にしています。



INTERVIEW
02

土屋 晴輝

ホームタウン推進部
2022年新卒入社

——入社きっかけは何ですか？

小さい頃からサッカーが好きだったこと、大学時代にサッカークラブでインターンシップをしていたということもあり、サッカーに携わる仕事をしたいと思っていました。そして就職活動の際、ロアッソ熊本の求人を見つけ、クラブ理念に共感し、応募させていただき、縁あって入社させていただきました。

——どのような仕事をしていますか？
(日常業務・HG開催時)

日常業務としては、火の国もりあげタイ！実施自治体をはじめとした行政や各種団体対応、ホームゲーム会場でのイベント企画などを行っています。

また、保育園、幼稚園、小学校等の教育機関への訪問や、ロアッソくんと県内各地のイベントに参加し、ロアッソ熊本のPR活動をおこなっています。

ホームゲーム開催時はタウンデーの対応として首長のお出迎え・案内や場内一周グリーティングの引率、ピッチサイドでのウォーミングアップ見学、遊具貸し出しの対応などを行っています。その他、スタジアムグルメにも携わっています。美味しい飲食店がたくさん揃っていますので、ご来場の際には試合はもちろんですが、“スタグル”も楽しんでいただければ嬉しいです！

——今の仕事のやりがいと今後の目標は何ですか？

携わったイベント等で行政・団体の方々やお客様が喜んでくれる姿を見ると、嬉しいですしとてもやりがいを感じます。特に2024シーズンは、ホームゲーム時の開催イベントとして携わった、御船町とコラボした恐竜たちの運動会や、熊本中央高等学校による書道パフォーマンスは、初めての試みで不安もありましたが、スタジアム内外問わずSNSでも多くの反響があり、とても嬉しかったです。これからもサポーターの皆様喜んでいただけるようなイベントや、スタジアムに足を運んでいただけるようなイベント等を実施していきたいです。

また、今後の目標としては、選手・スタッフと同じようにJ1昇格を成し遂げたいです。そのためにも、多くの方にロアッソ熊本を応援していただくこと、そしてスタジアムに足を運んでいただくことが大事だと思うので、様々な所と関わりながら、県内各地にロアッソ熊本を届けていきたいと考えています。

会社概要

[社 名] 株式会社 アスリートクラブ熊本
[所 在 地] 〒860-0856
熊本県熊本市中央区妙体寺町5-4
TEL:096-283-1200 FAX:096-283-1300
[設 立 年 月 日] 2004年12月21日
[資 本 金] 3億8,050万円
[事 業 内 容] プロサッカーチーム運営をはじめとする興行業
[役 員] 代表取締役社長 藤本 靖博
取締役ゼネラルマネージャー 織田 秀和
取締役(非常勤) 坂本 正 (ロアッソ熊本持株会 理事長)
取締役(非常勤) 高橋 光宏 (高橋酒造株式会社 代表取締役社長)
取締役(非常勤) 河田 信之 (一般社団法人熊本県サッカー協会 会長)
監査役(非常勤) 宮田 房之 (宮田総合法律事務所 弁護士)
会計参与(非常勤) 西本 寛 (西本会計事務所 税理士)

[社 名] 一般社団法人 ロアッソ熊本スポーツクラブ
[所 在 地] 〒860-0856
熊本県熊本市中央区妙体寺町5-4
TEL:096-285-3033 FAX:096-283-1300
[設 立 年 月 日] 2014年4月1日
[事 業 内 容 と 目 的] スポーツを通じて地域社会の活性化とスポーツ文化の創造に寄与することを目的としたスポーツクラブの運営事業
[役 員] 代表理事 宮崎 幹士
理事 藤本 靖博 (株式会社アスリートクラブ熊本 代表取締役社長)
理事 織田 秀和 (株式会社アスリートクラブ熊本 取締役ゼネラルマネージャー)
理事 首藤 崇
理事(非常勤) 藤山 直秀 (藤山司法書士事務所 司法書士)
監事(非常勤) 森枝 大輔 (宮田総合法律事務所 弁護士)

(2025年1月末日現在)



